

5月臨時会、6月定例会の報告

5月臨時会

5月13日(木)の1日間

令和3年度 議会体制が決定

中島りゅうじ

地域生活委員会、予算決算委員会(地域生活分科会)、
議会情報戦略推進特別委員会、公選法運用委員会役員会

正副議長が決定

議長 太田 博康 議員(自民クラブ)
副議長 深津 眞一 議員(自民クラブ)

地域生活委員会



6月定例会

6月11日(金)~6月28日(月)の18日間

慎重に審査した結果、上程された議案や補正予算案については全て賛成といたしました。

一般質問

市民ニーズの多様化に対応した都市公園

Q&A 都市公園の管理の現状

Q.質問 都市公園に対する様々な要望や問い合わせがあり、市民ニーズも様々であることが確認できた。それでは多様な意見・要望への対応については?

A.答弁 公園は様々な人々が利用する場所であり、お互いが安心して、快適に利用できるような一定のルールは必要と考えており、様々な意見や要望に対して全て応えていくことは、困難です。

しかし、他の公園利用者との共存が可能な河川敷の一部の公園では、周辺環境や安全に配慮しつつ、ニーズに応えるよう努めています。

今後も、関係法令の改正などの動向や社会情勢を踏まえつつ、ニーズの変化に柔軟に対応しながら、様々な人々が使いやすい公園づくりに努めていきたいと考えております。



耳が不自由です

ドローンを含めた無人航空機に関しては、今後、航空法などの法整備の改正が議論される予定であり、公園利用者の安全確保の観点から、御立公園の一部エリアのみ、事前申請をした上で許可をしているということだと認識しています。

利用者のニーズからみれば、安全を確保できれば、他の公園でも利用してもいいのではと思えることもあり、法改正の動向などに注視して、より使いやすい公園となることを期待します。



中島りゅうじの要望・意見

Q&A インクルーシブ公園



Q.質問 障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる遊具のある公園は必要。インクルーシブ公園に関して、本市としての見解を伺う

A.答弁 様々な利用ニーズがある中で、障がいの有無にかかわらず、安全・安心に利用できる公園であることは、大変重要な視点と認識しております。

インクルーシブな考え方の公園整備については、障がいなどを含めた利用者の多様性の理解や共有のもと、福祉的、教育的な観点も踏まえながら、遊具や施設の更新に合わせて、総合的な視点で対応を判断してまいります。

インクルーシブ公園とは

障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる遊具のある公園のことで、1980年代以降に欧米で広がりました。しかし、国内のほとんどの公園は障がいのない子ども向けに設計されているのが実情であります。

ソーシャルインクルージョンとは

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念をいいます。

中央公園の整備とは

本市が誰もが憩う快適な空間を創出するとともに、中心市街地や豊田スタジアムと連携して多世代が交流できる空間を創出することを目指し、中央公園第二期整備を推進していく方針がある。